# 『ある「負け組科学者」の人生の記録 & 随筆集 & 随筆集２』の誤り訂正[*1]

江澤　潔　[書き下し：2021/06/29]

私が 2021/06/24 に自らの手でこの世を去ることを断念したのに伴い、拙著、『ある「負け組科学者」の人生の記録』、『ある「負け組科学者」の随筆集』、『世の人々へ（番外編）: ある「負け組科学者」の随筆集２』[*2] に共通して見られる重大なる間違いが生じる事となった。ここに慎んでお詫び申し上げるとともに、以下にその訂正を与える。

先ず、私は私の「全人生をかけた研究プロジェクト」を終わらせたら出来るだけ早くこの世を去るつもりでこれらの拙著を書いていたが、2020/10/30 に最初の試みを失敗して埼玉医大付属病院の精神科に強制入院させられて 2021/02/10 に退院した後も何度も自殺を試みたものの、結局、首尾よく遂げることはならず、とうとう 2021/06/24 に断念することになった。従って、この世を早く去るつもりで書かれた箇所はいずれも「誤り」であり、その後も人生が続くことを念頭に置いた様に書き直すべきである。

次に、今回の度重なる失敗により、私は実は非常に大きな「死への恐怖心」を抱いていることを痛感させられた。上記３つの拙著の幾つかの箇所で、「私は死ぬのは怖くない」と書いていたが、それは間違いであった！！改めてお詫びし、「私も実は死ぬのは怖い」と訂正させて頂く。（しかしながら、その当時は本気で「怖くない」と思っていたので、（故意に）嘘をついていたわけではない。これまで「怖くない」と思い込んでいたのは、実際に「死」に直面する機会がなかった事と、そう言った場面への想像力の欠如が原因だったと思う。）

『ある「負け組科学者」の人生の記録』の中で、九工大時代の元上司の「江澤さんは自殺はしないと思う」との発言を受けて、私は元上司が私のことを全く分かっていないと非



[*2] いずれも　https://sites.google.com/view/kiyoshi-ezawa-phd および https://archive.org/details/@kiyoshi_ezawa2_ph_d_2nd_account_ でパブリック・ドメインとして提供中。

難した。しかし、今改めて考えてみると、私のことを全く分かっていなかったのは、実は私自身の方だったのかも知れない。ここに、間違いをお詫びする。

ただ、一つだけ言って置きたいが、今回の「断念」により、私の「誠実」に傷がつくとしたら、それは非常に遺憾である。私はこれまで言った事は誠実に実行して来た：「研究者の職業を引退する」との発言を守って、実際に 2016/09/30 に引退した；父との喧嘩で「家を出る」という話になって、本当に 2017/11/10 に家を出て、その後賃貸契約期間の２年間アパートに住んで別居した；また、約束通り、「最後の研究プロジェクト」を 2020 年の８月に終え、それに伴って研究の世界から完全に身を引いた。 ··· ただ一つ、「この世を去る」ことだけが、（何度も試みたものの）首尾よく実行することができなかった。

最後に、今回の度重なる失敗はまた、私に、人間の持つ「生存本能」がいかに強いかを教えてくれた。上記３つの拙著では、環境問題や高齢化問題等に関する解決策等も論じているが、この強い「生存本能」についてはあまり考慮していなかった。しかし、解決策をもっと実効的なものにする為には、この強い「生存本能」のことをもっと考慮に入れる必要がありそうである。

以上、３つの拙著に共通する重大な誤りを訂正させて頂いた。ひょっとしたら、それぞれの拙著にはまだ幾つか細々とした誤りが残っているかも知れないが、それらについてはここでは訂正しない；もし機会があったら改めて訂正させてもらうかも知れないが、あまり期待しないで欲しい。